

提 言

子どものヘルスプロモーションに向けた外来からの発信を

及川郁子 (聖路加看護大学)

健やか親子21が策定されて10年目を迎えます。健やか親子21の基本理念は、子どものヘルスプロモーションの促進です。病気や障がいのある子どもたちも含め、子ども一人ひとりが健康的なライフスタイルを身につけ、豊かな人生を送ることができるように、子ども自身の力を強めていくと同時に、子どもを取り巻く人々が健康的な環境づくりに取り組むことであるとされています。

しかし、子どもたちの生きる世界はますます厳しくなっているように見えます。大人や社会の歪みは、いつも一番の弱者である子どもたちに降りかかっています。かつて外来は医療の縮図であると言われましたが、今や子どもたちの外来は社会の縮図のように見えます。疾病の治療のみならず、子どもや家族のおかれた生活、社会背景を考えてケアしていくことが一層重要となっています。

外来は、身近に多くの子どもたちや家族と接することができる貴重な場です。弱まった家族の力を引き出し、子どものヘルスプロモーションを促進する大切な機会です。忙しい外来であっても、必ず子どもに語りかけ、親御さんやご家族と話すことで、何でも気軽に相談できる場作りが外来機能の第一歩でしょう。そして、日常のケアの中に、外来が中心となって医療機関内外の専門職、地域の人々とネットワークを組み、健康的な環境づくりへの取り組みが求められているのではないのでしょうか。



外来待合室～外来を訪れる子どもたちが笑顔で、親御さんが安心して帰宅できる外来を～

写真提供 及川郁子